



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
コード番号 3682 URL <https://www.et-x.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 飯塚 伸

TEL 03-5623-2622

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,801	4.5	163	9.1	165	12.3	138	21.7
2020年3月期	1,885	10.8	179	67.1	188	65.6	113	71.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	20.74		4.3	4.3	9.1
2020年3月期	16.60		3.5	4.7	9.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(注1)「1株当たり当期純利益」は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

(注2)「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,899	3,169	81.3	475.90
2020年3月期	3,874	3,250	83.9	477.88

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,169百万円 2020年3月期 3,250百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	436	59	235	2,080
2020年3月期				

(注)当社は、2020年3月期は連結キャッシュ・フロー計算書を作成していましたが、2021年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため2020年3月期はキャッシュ・フロー計算書を作成していないため、2020年3月期のキャッシュ・フローの状況は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		18.00	18.00	123	108.4	3.8
2021年3月期		0.00		18.00	18.00	120	86.8	3.8
2022年3月期(予想)		0.00		18.00	18.00		70.5	

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	16.6	250	53.4	250	51.5	170	23.2	25.52

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	6,924,200 株	2020年3月期	6,924,200 株
期末自己株式数	2021年3月期	263,832 株	2020年3月期	122,332 株
期中平均株式数	2021年3月期	6,687,194 株	2020年3月期	6,864,165 株

(注)「期末自己株式数」には、信託口が保有する当社株式が含まれております。また、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式には信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

2020年11月30日付「非連結決算への移行及び2021年3月期個別業績予想に関するお知らせ」にて公表のとおり、連結子会社株式会社アクロテックの清算手続きが完了いたしました。これにより、連結対象の子会社がなくなったため、第3四半期会計期間より、従来連結で行ってまいりました開示を単体開示に変更いたしました。

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大及び流行の影響が長期化し、3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、依然として厳しい状況が続いております。当社におきましても、引き続き感染拡大の防止策を講じつつ徐々に活動レベルを引き上げておりますが、未だ感染収束の見通しは立たず、国内の経済活動は厳しい状況が続くと見込んでおります。

当社が属する情報サービス業においては、いわゆる「巣ごもり需要」によりゲームソフトの売上が前年同期比で伸長する月が見られたものの、ソフトウェア開発市場全体の売上が、第2四半期以降に総じて前年同月を下回る状況となっております。(経済産業省2021年2月分特定サービス産業動態統計月報(2021年4月15日))

このような状況の下、当社は「新たな価値創造」「ストックビジネス強化」「業務効率化による働き方改革の推進」を重点施策に掲げ、製品開発ならびにサービス開発の強化に取り組んでまいりました。

「新たな価値創造」においては、従来から取り組んできた新SIO開発の第一弾として、企業のDX推進を支援する次世代型特権ID管理ソフトウェア「ESS AdminONE」を3月にリリースしました。当該製品は、販売開始前のテストリリース版を用いた早期トライアル「アーリーアクセス」の参加を取引先に呼びかけた結果、約20社のお客さま・パートナーにご参加いただきました。「アーリーアクセス」の中では製品に関する高い評価をいただき、リリースから僅か1カ月の間に10件のプロジェクトで採用されました。また、同じく3月に主力製品の「ESS REC/ESS REC NEAO」で、AI技術(深層学習)を高精度の画像解析・顔認識技術に活用したカメラセンサー機能を搭載した新バージョンをリリースいたしました。

以上の結果、当事業年度の売上高は、1,801,766千円(前年同期比4.5%減)となりました。ライセンス売上は、新型コロナウイルス感染症の影響によりお客様企業の投資がより慎重になったことや、緊急事態宣言により新規提案活動が阻害されたことなどの影響により、上半期予定案件の遅延が見られました。下半期では営業体制強化の成果や新製品の寄与等により、各四半期で1億円を超えるなどライセンス売上の回復が見られました。コンサルティングサービス売上においては、特に上半期のライセンス売上減少による影響を受けたことで低迷したものの、「ストックビジネス」である保守サポートサービス売上とクラウドサービス売上は順調に増加いたしました。なお、当事業年度における保守サポートサービス契約の更新率は、前事業年度に未達となった経営目標である95%超に回復いたしました。売上原価ならびに販売費および一般管理費においては、新製品「ESS AdminONE」や「ESS REC/ESS REC NEAO」カメラセンサー機能開発等の投資により、研究開発費が289,975千円(前年同期比35.0%増)となりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの社員がテレワーク(在宅勤務)を徹底したことで営業の訪問・出張活動の抑制や、イベントの中止・縮小など販売関連費用が減少したほか、関連経費の抑制などにより営業利益は163,399千円(前年同期比9.1%減)、経常利益は165,301千円(同12.3%減)、当期純利益は前事業年度計上の特別損失や繰延税金資産の取崩しの反動減等により、138,670千円(同21.7%増)となりました。

「業務効率化による働き方改革の推進」については、新型コロナウイルスの感染防止策として全社員がリモートワーク(在宅勤務)を実現できる環境を構築し、「ESS REC/ESS REC NEAO」を活用して業務効率をモニタリングするとともにセキュリティ対策を講じております。また、通勤時ならびに職場の密を回避するために時差通勤を取り入れた勤務形態も定着いたしました。2021年4月からは、さらに発展させた人事制度を導入して、給与水準を変えることなく「週休3日」を実現する変形労働時間制を開始しており、社員への安全配慮とともに生産性の向上に努めております。

当事業年度における製品・サービス区分別販売実績

(単位：千円)

製品・サービスの名称		(ご参考) 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
	うちESS REC (REC)	284,098	264,012
	うちその他ライセンス	132,354	145,183
	ライセンス	416,452	409,195
	保守サポートサービス	1,116,227	1,136,901
	クラウドサービス	76,018	81,976
	コンサルティングサービス	177,275	109,298
	SIO常駐サービス	33,414	21,865
	その他	66,319	42,528
	パッケージソフトウェア事業 計	1,885,708	1,801,766
	システム開発サービス事業	43,144	(注) —
	合 計	1,928,853	1,801,766

(注) 当社の報告セグメントは「パッケージソフトウェア事業」と「システム開発サービス事業」に区分しておりましたが、第2四半期会計期間より「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントに変更しております。

## (2) 当期の財政状態に関する概況

## 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当事業年度末の資産合計は、前事業年度末に比べ24,747千円増加し、3,899,329千円(前事業年度末比0.6%増)となりました。主として現金及び預金の増加260,781千円、売掛金の増加39,976千円、連結子会社の清算に伴う関係会社株式の減少227,119千円によるものであります。

## (負債)

当事業年度末の負債合計は、前事業年度末に比べ105,556千円増加し、729,673千円(前事業年度末比16.9%増)となりました。主として前受金の増加58,398千円によるものであります。

## (純資産)

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末に比べ80,808千円減少し、3,169,655千円(前事業年度末比2.5%減)となりました。主として当期純利益138,670千円、剰余金の配当123,412千円、自己株式の取得112,104千円によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

## キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,080,647千円(前事業年度末比260,781千円増)となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、436,928千円となりました。主な収入要因は、税金等調整前当期純利益167,831千円、減価償却費計上額113,708千円、保守サポートサービス売上の伸長に伴う前受金の増加額58,398千円、主な支出要因は、売上債権の増加額39,976千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果得られた資金は、59,370千円となりました。主な収入要因は、子会社の清算に伴う残余財産の分配金184,796千円、主な支出要因は、無形固定資産、主に製品の拡張・改良に伴う市場販売目的ソフトウェアの取得による支出70,311千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果支出した資金は、235,517千円となりました。主な支出要因は、配当金の支払額123,412千円、自己株式の取得による支出112,104千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期
自己資本比率(%)	81.3
時価ベースの自己資本比率(%)	112.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

有利子負債残高、利払い額がないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(注) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株控除後)により算出しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症が国内経済へ及ぼす影響により先行きは不透明な状況で推移するものと予想しております。当社の事業に関連する市場においては、新型コロナウイルス感染症による顧客、当社とも活動制限等の影響が続くものの、昨年との比較では改善の兆しもみられます。特に、社会における情報セキュリティ意識やデジタル化に関心が高まっており、利便性、効率性と安心安全に関する需要が増大しています。経済社会においては、コロナ禍でリモートワークの拡大とともに生産性の維持、拡大が課題として捉えられ、新しい就業環境の整備が進むものと考えられます。

このような見通しの中で2022年3月期においては、変形労働時間制の導入によって社員が計画的に業務遂行を可能とするとともに、職務記述書を用いてひとり一人の活動内容を明確にする人事制度を開始しております。当該制度により業務を効率化することで、新しい事業へリソースの展開を図ります。また、ターゲットに応じた組織づくりと戦略づくりによって、既存顧客とのリレーション強化や新規顧客開拓など、的確でスピード感のある事業活動を展開いたします。さらに、「ESS AdminONE」のAPI連携のような製品によるソリューション拡大や代理店が行うビジネスとのソリューション連携による市場拡大を目指します。

これらにより、翌事業年度(2022年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高2,100百万円(前年同期比16.6%増)、営業利益250百万円(同53.4%増)、経常利益250百万円(同51.5%増)、当期純利益170百万円(同23.2%増)を予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後、業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する適正な利益還元を経営の重要課題として認識しており、配当政策に関しては、各事業年度における利益水準、次期以降の見通し、設備投資に係る資金需要及び内部留保の状況等を総合的に勘案したうえで、配当性向33.3%以上を目安とし、株主への利益配当を実施していく方針であります。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり18円を予定いたしております。また、当期におきまして、自己株式を市場買付けにより141,500株(取得価額112百万円)取得いたしました。

なお、次期の配当金につきましては、継続的かつ安定的な配当の観点から、1株につき18円の期末配当を予定しております。併せて、内部留保金の用途につきましては、IT人材の確保に投資を行うとともに日々進化し続ける情報技術に対する設備投資および研究開発投資、並びにM&Aなどに充当し、事業基盤の安定と企業価値の向上に努めて参ります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,019,865	3,280,647
売掛金	110,173	150,149
前払費用	65,792	51,396
未収還付法人税等	49,746	31,356
その他	39,723	31,967
流動資産合計	3,285,301	3,545,517
固定資産		
有形固定資産		
建物	73,478	65,034
減価償却累計額	△58,116	△57,101
建物(純額)	15,362	7,933
工具、器具及び備品	132,463	148,939
減価償却累計額	△90,823	△113,258
工具、器具及び備品(純額)	41,639	35,681
有形固定資産合計	57,001	43,614
無形固定資産		
ソフトウェア	35,584	27,656
無形固定資産合計	35,584	27,656
投資その他の資産		
投資有価証券	37,683	60,800
関係会社株式	227,119	-
繰延税金資産	73,011	63,300
敷金	98,879	78,440
その他	60,000	80,000
投資その他の資産合計	496,693	282,540
固定資産合計	589,280	353,812
資産合計	3,874,582	3,899,329
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,118	23,828
未払金	29,601	32,499
未払法人税等	-	12,090
前受金	459,939	518,338
賞与引当金	40,481	60,251
預り金	7,324	6,671
その他	18,070	43,839
流動負債合計	585,534	697,519
固定負債		
退職給付引当金	2,100	1,430
従業員株式給付引当金	2,800	1,000
資産除去債務	33,682	29,723
固定負債合計	38,582	32,153
負債合計	624,117	729,673



(単位: 千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金		
資本準備金	489,386	489,386
資本剰余金合計	489,386	489,386
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,359,302	2,374,560
利益剰余金合計	2,359,302	2,374,560
自己株式	△105,874	△217,979
株主資本合計	3,250,200	3,153,353
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
	263	16,302
評価・換算差額等合計	263	16,302
純資産合計	3,250,464	3,169,655
負債純資産合計	3,874,582	3,899,329

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,885,708	1,801,766
売上原価	704,935	618,576
売上総利益	1,180,772	1,183,189
販売費及び一般管理費	1,000,961	1,019,790
営業利益	179,811	163,399
営業外収益		
受取利息	140	86
受取配当金	963	1,023
助成金収入	7,996	3,102
法人税等還付加算金	-	544
その他	417	114
営業外収益合計	9,518	4,872
営業外費用		
事務所移転費用	277	1,097
支払手数料	471	913
障害者雇用納付金	-	960
その他	10	-
営業外費用合計	759	2,970
経常利益	188,570	165,301
特別利益		
関係会社清算益	-	2,529
特別利益合計	-	2,529
特別損失		
投資有価証券評価損	16,699	-
特別損失合計	16,699	-
税引前当期純利益	171,870	167,831
法人税、住民税及び事業税	17,286	26,527
法人税等調整額	40,646	2,632
法人税等合計	57,932	29,160
当期純利益	113,938	138,670

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				繰越利益剰余金		
当期首残高	507,386	489,386	489,386	2,369,993	2,369,993	△57,235
当期変動額						
剰余金の配当				△124,628	△124,628	
当期純利益				113,938	113,938	
自己株式の取得						△48,639
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計				△10,690	△10,690	△48,639
当期末残高	507,386	489,386	489,386	2,359,302	2,359,302	△105,874

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	3,309,530	14,548	14,548	3,324,078
当期変動額				
剰余金の配当	△124,628			△124,628
当期純利益	113,938			113,938
自己株式の取得	△48,639			△48,639
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△14,284	△14,284	△14,284
当期変動額合計	△59,330	△14,284	△14,284	△73,614
当期末残高	3,250,200	263	263	3,250,464

エンカレッジ・テクノロジー株(3682)2021年3月期決算短信(非連結)

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				繰越利益剰余金		
当期首残高	507,386	489,386	489,386	2,359,302	2,359,302	△105,874
当期変動額						
剰余金の配当				△123,412	△123,412	
当期純利益				138,670	138,670	
自己株式の取得						△112,104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計				15,257	15,257	△112,104
当期末残高	507,386	489,386	489,386	2,374,560	2,374,560	△217,979

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	3,250,200	263	263	3,250,464
当期変動額				
剰余金の配当	△123,412			△123,412
当期純利益	138,670			138,670
自己株式の取得	△112,104			△112,104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		16,038	16,038	16,038
当期変動額合計	△96,847	16,038	16,038	△80,808
当期末残高	3,153,353	16,302	16,302	3,169,655

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前当期純利益	167,831
減価償却費	113,708
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,770
受取利息及び受取配当金	△1,110
関係会社清算損益(△は益)	△2,529
売上債権の増減額(△は増加)	△39,976
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,289
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	5,873
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,287
前受金の増減額(△は減少)	58,398
前払費用の増減額(△は増加)	14,396
その他	52,422
小計	405,783
利息及び配当金の受取額	1,002
法人税等の還付額	30,141
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>436,928</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	1,200,000
定期預金の預入による支出	△1,200,000
有形固定資産の取得による支出	△18,557
無形固定資産の取得による支出	△70,311
敷金の差入による支出	△9,156
資産除去債務の履行による支出	△7,400
子会社の清算による収入	184,796
その他	△20,000
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>59,370</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△112,104
配当金の支払額	△123,412
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△235,517</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	260,781
現金及び現金同等物の期首残高	1,819,865
現金及び現金同等物の期末残高	2,080,647

- (5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当社は、「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは「パッケージソフトウェア事業」と「システム開発サービス事業」に区分しておりましたが、第2四半期会計期間より「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、2020年8月31日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社アクロテックの解散及び清算の決議を行ったことに伴いセグメント区分の見直しを行ったものであります。

なお、第3四半期会計期間にて、連結子会社 株式会社アクロテックの清算手続きは完了いたしました。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	477.88円	475.90円
1株当たり当期純利益	16.60円	20.74円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式は、「1株当たり当期純利益」算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、「1株当たり純資産額」算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております。当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は当事業年度54,400株であり、期末株式数は当事業年度54,400株であります。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,250,464	3,169,655
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,250,464	3,169,655
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,801,868	6,660,368

4. 1株当たり当期純利益は算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
当期純利益(千円)	113,938	138,670
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	113,938	138,670
普通株式の期中平均株式数(株)	6,864,165	6,687,194

(重要な後発事象)

該当事項はありません。